

おひさまぴよぴよ Q & A

Q1 雨の日もやっているの？

天候不良の際はHPの「中止のお知らせ」で開催の有無をお知らせしています。

Q2 帰る時間は自由なの？

はい。来る時間も帰る時間も自由です。お子さんとご家庭の都合を優先してくださいね。小さい子は午前中にたっぷりあそぶとスムーズに帰れますよ。

Q3 何をっていけばいいの？

お着替え、濡れたり汚れた服を入れるビニル袋、タオル、飲み物、お昼ごはん、昼食用シート、天気の良い日は帽子もね。おもちゃは持ってこなくてもあそべますよ。

Q4 0歳はどんなことをしてあそんでいるの？

赤ちゃんは五感をほどよく刺激してくれる外あそび。お部屋にはない空や風、木漏れ日、誰かの声。他の子のあそんでいる様子も真剣に見つめていますよ。

都立大泉中央公園

大泉学園町9-4-3
毎週火曜日 9:30~13:30



練馬区立中村かしわ公園

中村1-17-1
毎週木曜日 9:30~13:30



お知らせ

新型コロナウイルス対策を実施しながら開催をしています。今後、開催状況について変更が生じる可能性もあります。その際にはHPでお知らせします。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

発行 / NPO法人PLAYTANK (プレイタンク)

住所 練馬区旭町1-16-1
電話 03-3976-3113
(月~金 9:30~16:00)
メール contactus@playtank.tokyo
WEB <https://playtank.tokyo>
F B [fb.com/playtank.tokyo](https://www.facebook.com/playtank.tokyo)



練馬区立豊玉公園

豊玉北6-8-3
毎週火曜日 9:30~13:30



練馬区立立野公園

立野町32-1
毎週水曜日 9:30~13:30



都立石神井公園

石神井台1-26-1
毎週金曜日 9:30~13:30



練馬区立井頭の森緑地

東大泉7-26-8
毎週水曜日 9:30~13:30



都立光が丘公園

光が丘4-1-1
毎週木・金曜日 9:30~13:30



おひさまぴよ通信



練馬区外遊び型
子育てのひろば事業
おひさまぴよぴよ

2021年 vol.19

0.1.2.3歳と保護者の方が無料で利用できる外遊び型子育てのひろば「おひさまぴよぴよ」です。区内7ヶ所の公園で9:30~13:30に開催しています。開催時間内いつでも出入り自由なので、気軽に遊びに来てください。開催公園の曜日は裏面をみてね。

ウチの子、手ごわくなった! ? 子どもの自我が強くなる時期は...

「食事の時間も遊んじゃって、食べない! 座らない!」
「朝から家の中で大暴れ! 叱るとグズって大泣き」
今までと同じようにしているのに、
言うことをきかない、困ることばかりする...

これは2歳ごろにやってくる...噂のあれです、「イヤイヤ期」
自我の目覚め、成長の証、いえ、大人の忍耐の日々?!

そんな手ごわい自我によく効くのが、外遊び♪
だってね、お腹が空けば、子どもは食べますよ。
外あそびのゴールデンタイムは午前中なんです。
外あそびなら、走っても、登っても、跳んでも、
活発な子ね〜と、みんながいいね! と言ってくれます。

だからね、子どもの笑顔が輝くんです。

『おひさまぴよぴよ』では、普段は手ごわい子どもたちも、
その笑顔キラキラ輝かせています。一緒に遊びましょう!!



何をつかまえたの? 見せて!
大人も子どももあそび出したら本気!



砂の山からすべる〜!
おもしろいあそびを見つけたね。

理学療法士さんとあそぼう! あおぞら発達講座

昨年度、好評だったので、今年もお願いしました!
身体の専門家の理学療法士さんが「おひさまぴよぴよ」に
やってきます♪

シートの上に座って「歩き出すには体のどんな機能が必要?
?」「どんな風に遊べば発達するの?」など、子どもの身体発達についてお話ししてくれます。その後、みんなで芝生または土の上に出て一緒に遊びながら、それぞれの子の様子をみてあそび方のアドバイスをしてくれます。

気持ちのいい秋♪ 一緒に外であそびましょう(^^)/

理学療法士さんにお話しがきける貴重なチャンス!
定員があります。早めに申し込んでね。

◆日程:
10月14日(木) 中村かしわ公園
10月21日(木) 光が丘公園
10月29日(金) 石神井公園
11月12日(金) 石神井公園

◆時間: 各回 10:30~11:15

◆対象: はいはいから、なかなか歩きださなくて
心配なお子さんと保護者の方

◆参加費: 無料

◆定員: 各回5組

◆申し込み方法:
HP、またはQRコードから申し込みください。

https://playtank.tokyo/ohipiyo_blog/2021/09/20-21-rigaku-asobou/



「おひさまぴよぴよ」って、どんなところ?

子どもが「たのしくあそんで育つ」ことを大切にしています。そして、はじめての外あそびが安心してスタートでき、あそぶ!子どもたちのエネルギーを感じて、いつの間にか、大人もエネルギーチャージ!!我が子の力に気づくこともあるし、気軽に話ができる人もだんだん増えていく、子育てが…なんだか楽しくなってくる!…そんな遊び場です。

はじめて、あそびに来る人へ

●おひびよスタッフがいます

初めて来た方は受付でオレンジのテープに名前を書いて見えるところに貼ってね。スタッフが声をかけるよ。なんでも聞いてね。

●みんなで使うシートがあります

貴重品以外の荷物は、ここに置いてね。家族単位なら、お弁当を食べるのもOK!

●あそび道具やあそび素材があります

バケツ、シャベル、ジョウロなどのあそび道具があるよ。土や葉っぱ、石や枝も、あそび素材だよ~!

●「初めて貸し出しグッズ」があります

洋服や靴を汚したくないから「お砂場着」や「長靴」を買ってからと考えている人、とりあえずおいでよ!貸し出しますよ。(※数に限りはあります)



季節は秋になりました。風の心地よさ、虫の音色…。空も木の実も葉っぱも、その色々々と変化させます。子どもと一緒に、目で、耳で、肌で、秋を感じましょう。子育て中だからこそできる、秋の楽しみ方です。



動いてる!見てみて!耳を澄ましたら…ほら聞こえる。触ってみようかな?ツルツルだね。なんて名前?何してるの?虫は小さな遊び仲間

誰かが覗いていたら気になるよね。ドキドキする子は誰かの後ろでいいよ。



秋の素敵な落とし物 どんぐり!拾って、集めて…泥団子に飾り付ける?桶で転がす?カラッ!コロッ!いい音!

宝物探し!まんまるのどんぐりみつけた!

どんぐりのカタチで、「転がり方」が違うんだよ~

両手いっぱい抱えて、投げる!大人も一緒にパラパラ~、ひらひら~集めた山の上に…ジャンプ!!落ち葉があるだけで、みんなが大はしゃぎ!

秋の外あそび着ポイント

寒暖差がある季節です。脱ぎ着しやすい前開きの上着があると便利。肌寒い朝でも、子どもは動くとき汗をかきますよ。



おひびよの一日

9:30

おひびよスタッフが道具を出すよ。みんなもお手伝いよろしくね~

好きなことをしてあそんでます



午前中にたっぷりあそぶと生活リズムが整いやすいよ!

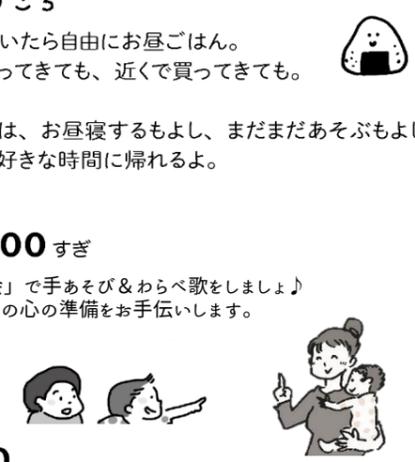


スタッフはオレンジのTシャツ&ウィンドブレーカーを着ているよ!

11:30 ごろ

おなかがすいたら自由にお昼ごはん。お弁当を持ってきても、近くで買ってきても。

ごはんの後は、お昼寝するもよし、まだまだあそぶもよし。疲れたら、好きな時間に帰れるよ。



コロナ対策

- ・体調が悪い人や家族に感染の疑いがある人は、参加できません。
- ・受付する前に、**手指の消毒**をしてください。
- ・受付では、**体温**を書きます。検温していない人は、並んで検温してください。
- ・大人は**マスク**を着用してください。
- ・あそび道具を口にいられた場合は、**他の子が触る前に洗って**ください。
- ・**食事は家族単位**で、離れて食べてください。他の家族とのおしゃべりや子どもの行き来もNGです。(昼食用にレジャーシートを持って来るのはOK)
- ・参加者が100人を超えそうになったら、HPと受付でお知らせします。**お知らせが出ている間は、参加を控えて**ください。

13:00 すぎ

「またねの会」で手あそび&わらべ歌をしましょ!「おしまい」の心の準備をお手伝いします。



13:30

今日のおひびよはおしまい。あそんだ道具をお片付けて、さあ、おうちに帰ろう。



見えない気持ちに気づくこと。

スタッフは聴こうとする、知ろうとする人として居たいと思っています。

大人のみなさんも、人に話を聞いてもらって気持ちが落ち着いたり、文字に書き起こすことで自分の気持ちに気づいたり…。そんな経験はありますよね。

大人も子どもも、気持ちを表出させることって、とっても大切なことだなと思います。

とはいえ、0歳~3歳では、自分の状況や気持ちを流暢に話すことはできません。みんな発達途上ですからね。

だから、納得がいけない表情の子や、もやっとした気持ちを抱えていそうな子を見つけたとき、何か言いたいのかな?何かあったのかな?と考えるようにしています。

例えば「僕も泣きたいけど我慢してるのに、その子が泣いてるからって、なんで僕の方が譲らなきゃいけないの…」とか、「わたしは、あの子たちの仲間に入りたんだけど、入り方がわからなくて困ってる」とかね。

こころの中のことを知って難しい。でも「大したことじゃない」とか「そのくらいへーき」という周囲の判断で、本当の気持ちにフタがされないように気にかけていきたいなあ。

共感したり、あるときは、一緒に行こうよと誘って友だちの輪に入ってみたり。さりげなく、横にいる人になれたらいいなと思っています。

いつの間にか、いなくなっていた…
ラチのらいおんみたいにね。